

ホホバ

頒布会便り



発行
毎月一回
(株)アイリス

各地から、花の便りが聞かれるこの頃。

暖かな日差しに、外出の機会も増えるこの季節は、実はお肌が不安定になりやすく、肌トラブルの多い時期でもあります。

春のお手入れは優しく、正しく行いましょう。

春のデリケートなお肌のお手入れ

暖かい日差しの日も多くなり、すっかり春めいてくるこの頃は、お肌の状態が不安定になり、とてもデリケートな時期です。

ちょっとした刺激が原因で、湿疹が出たり、かぶれやすいこの季節、お手入れも、お肌を刺激しない様に優しく行いましょう。

お手入れの基本は、まず、お肌を

常に清潔に保つ事が重要です。

しかし、デリケートな春のお肌は洗顔の刺激にも過敏になっていきますから、洗い過ぎは良くありません。

お肌に優しく刺激の少ない泡洗顔で、酸化した皮脂や角質を取り除き、瑞々しい素肌をキープしましょう。

摩擦の刺激から春のお肌を守る

お肌のお悩みといえば、一時的な湿疹やかぶれ、くすみ等から、シワやシミ、たるみ等がありますが、その原因はといえば、紫外線・加齢に次いで、お肌の摩擦刺激があります。洗顔にはじまり、タオルで顔を拭く、目をこする、顔を搔く、頬杖をつく等、すべてが摩擦刺激によつてシワやシミ、たるみの原因になりますから、出来るだけ肌に触れる回数を減らす様に心掛けましょう。

ムダを省く、春のお手入れ再点検

せつかくのお手入れも、正しく行わないと、逆効果になったり、無駄になってしまう事も。

間違つたお手入れを見直し、正しいお手入れで、くすみのない瑞々しい素肌で春を過ごしましょう。



正しいお手入れで 健やかな春肌へ

春になり、明るい日差しの下で、くすみや荒れ、吹き出物などの肌トラブルが目立ってしまう、お肌の不安定になるこの季節。状態が安定せずに、弱っている時は、お肌も安静にする事が重要です。

春のお手入れは お肌を安静に

お肌の不安定なこの時期は、お肌も安静が大切。

化粧品やお肌に直接つけるもので、新しい物を試すのは避けましょう。

春のお手入れは「刺激を避ける」「清潔を保つ」「潤いを守る」。

この三つを守って、優しくお手入れをしてください。

蒸しタオルで

くすみ解消

疲れや睡眠不足で、目の下にクマができたり、顔色がくすんでいる時は、即効性のある蒸しタオルパックがおススメです。

お肌を温める事で血行を改善し、くすみやクマを解消し、肌が柔らかく弾力を取り戻します。

もちろん、パック後は、ホホバで保湿をお忘れなく。

朝の洗顔で一日の

お肌の調子が決まる

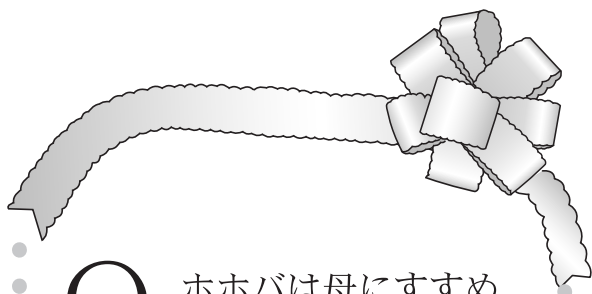
朝の洗顔を、忙しいからと雑にしていると、それ以外でどんなにきちんとお手入れしても、効果は半減してしまいます。

まずはお手入れの基本、正しい洗顔をする事が重要です。

1ぬるま湯で軽くすすぎます。

2たっぷりの泡で優しく撫でるようにそつと洗顔。





Q ホホバは母にすすめられて、もう5年位愛用しています。特にホホバ石鹸は、さっぱりしてて大ファンです。普段は洗顔後、アロエローションをつけ、出掛ける前にUVカットを塗っています。ホホバは特にカサカサした時つけていますが、これだけではダメですか？



A いつもご愛用ありがとうございます。洗顔後は、やはりホホバまたはホホバクリームをお使いになる様おすすめします。

洗顔後のお肌の水分量は、時間と共にどんどん乾燥して行きます。潤いをキープするため、ホホバを極薄く伸ばしてお肌に保湿のベールを作っておく様にしましょう。

- 3 すすぎは入念に、20〜30回。
- 4 洗顔後はタオルでお肌を押さええる様に拭き取ります。
- 5 時間をあけずにアロエローションをたっぷり、手のひら全体でお肌に押し込む様につけます。
- 6 最後にホホバをお肌に薄く伸ばします。
- 7 仕上げにUVカットで紫外線対策も忘れずに。



シートマスクはその後が重要

シートマスクに化粧水をたっぷりと含ませてパックすると、しっとり潤って気持ちの良いものです。しかし、その後はなるべく早くホホバで保湿のお手入れを。そのままではせつかくの潤い肌からどんどん水分が奪われて乾燥が進み、せつかくのパックも効果が無しになってしまいます。

老化対策にはまずUVカット

春は紫外線の量が急増する季節。お肌の老化原因第1位の、紫外線をきちんとカットする事は、どんなお手入れより重要です。毎日のお手入れの仕上げにUVカットを習慣づけましょう。

また、パック時間が長過ぎると却ってお肌の水分がシートに戻ってしまうのでご注意ください。